

# 今後の八王子市史編さん事業推進の方策について

平成23年6月

八王子市市史編さん審議会

平成23年6月22日

八王子市長 黒 須 隆 一 殿

八王子市市史編さん審議会  
会 長 松 尾 正 人

八王子市史編さんについて（答申）

本審議会は、平成22年12月20日に貴職から、八王子市史編さんについて諮問を受け、これまで約6か月間に渡り、4回の審議会において審議してまいりました。

この度、その結果を別紙「今後の八王子市史編さん事業推進の方策について」のとおりにまとめましたので、本審議会の答申として提出いたします。

多摩地区で最初に市制を施行し、その中心として栄えてきた八王子市の市制100周年記念事業としてふさわしい市史の編さんが着実に推進されるよう、貴職におかれましては、本答申の内容を可能な限り尊重し、今後の市史編さん事業に取り組みられるよう要望いたします。

## 今後の八王子市史編さん事業推進の方策について

### はじめに

八王子市が平成19年4月に市史編さん室を設置し、市制施行100周年の記念事業として市史編さん事業に着手して早くも5年目を迎えました。本審議会は、平成21年1月答申において、市制施行100周年の機会に改めて八王子の自然や歴史、伝統文化を見直し、これからの八王子市の発展につながる新たな市史を編さんすることを極めて意義深いものと考え、後世の市民に誇ることのできる市史の編さんが行われることを要望しました。市はその答申の趣旨を踏まえた「八王子市史編さんの基本的な考え方 市史編さん基本構想」及び「八王子市史編集方針」に基づき、市史編集専門部会による具体的な作業を進めています。その成果の一部を市民に伝える『八王子市史研究』も今年3月に創刊され、市史編さんに対する市民の注目や期待は高まっているものと考えます。

本審議会は、昨年12月に市長から「今後の八王子市史編さん事業推進の方策について」の諮問を受け、事業進捗の実態を踏まえながら、刊行計画、市民に開かれた事業とするための方策、今後の調査研究の進め方の3点について審議し、以下のとおり、本審議会としての意見をまとめました。

### 1. 事業進捗を踏まえた刊行計画の修正について

平成21年4月、市史編集に必要な事項を協議する市史編集委員会と、編さんに必要な資料の収集・調査・研究から編集・執筆までの実作業を行う「原始・古代」、「中世」、「近世」、「近現代」、「自然」及び「民俗」の6つの編集専門部会が設置されました。現在、各専門部会において、同28年度までに資料編6冊、本編8冊を順次刊行するという市史編さん基本構想に定められた刊行計画に従い、資料の収集・調査・研究が精力的に進められています。

このたび資料編の刊行を開始する平成23年度を迎え、本審議会において各専門部会の作業進捗状況等の報告を受け、各専門部会が当初の手探り段階から活発な調査研究活動を展開する段階へと着実に歩を進めていることを確認しました。しかしその一方で、今後の作業手順を見通したとき、計画通りの刊行は技術的に困難な実態にあることも明らかになりました。

市史編さん事業において、市民の地域に対する理解を深め、市民のまちづくりに寄与する市史にふさわしい質を確保するためには、なお課題が残されていると考えます。八王子の歴史的特質を活かした時代区分に基づき、各時代の内容のバランスに配慮して八王子の歴史を再構築し、学問的にも高く評価される記述とするためには、過去に多くの市民が手掛けた調査・研究の成果である資料や、今回の市史編さん事業を通じて新たに発見された資料を、整理・選択するという一定の手順を踏む必要があります。

しかし、調査を要する資料は市内に豊富に存在し、日本全国にも数多く残されています。また、今年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、予定していた資料調査に遅れが生じている例も報告されました。そのため、今後の資料調査にはさらに一定の時間を要するものと考えられます。市民の貴重な財源を投じて行う市制施行100周年記念事業である以上、時間的な制約は免れませんが、市史編さんの実作業に携わる専門部会から「既定の刊行計画の実現は至難の技」との認識が示されている現状を、刊行計画の最初となる答申を行った本審議会として看過することはできません。

市史編さん基本構想では、「刊行計画については資料の収集状況や資料調査の進捗状況等を勘案し、およそ3年後を目途に見直しを行うこと」としてありますが、専門部会の作業実態を勘案すると、資料編の刊行が始まる今年度中にも、各編の刊行年度の一部を調整する形で刊行計画の修正を行うことが妥当であると考えます。

多摩地域で最初に市制が施行され、その中心として栄えてきた歴史を誇る八王子市の市制100周年記念事業にふさわしい水準を備えた市史とするためにも、平成28年度の刊行完了という前提は維持しつつ、各専門部会が適切な見通しのもとに着実に編集作業を進めることができるよう、時宜を逸することなく刊行計画を適切に修正することを求めます。

## 2. より市民に開かれた市史編さん事業を推進するために

市史編さん基本構想では、広く市民に親しまれ、まちづくりや生涯学習、学校教育等で活用される市史とすることを基本方針の柱の一つとし、生活する市民の視点からの編さんを行うため市民協働を進めることとしています。本審議会は、市史編さん事業をより市民に開かれたものとするための方策を、2つの視点から整理しました。

ひとつは、市史編さん事業のプロセスを開かれたものとするための方策です。

今回の編さん事業においては、行政が実施する事業として透明性を確保し、市民に対する説明責任を果たす意味からも、当初から市内の個人や団体、市内大学等との間で協働や

相互連携を進めてきています（別添資料参照）。これら市民協働関連事業を積み重ねることにより、編さん事業の市民への周知・理解が広がり、次世代に向けた人材育成につながっていくと考えます。今後も引き続き市史編さん事業への市民参加・市民協働の拡大を図ることで、市史編さんの新しいスタイルを提示し、地方分権時代の基礎自治体における市史編さんのあり方を八王子市がリードすることを期待します。

もうひとつは、市史編さん事業の成果を開かれたものとするための方策です。

市史編さん事業は資料編・本編の刊行により市民が共有できる形に結実しますが、事業の中で収集・調査・研究された資料すべてを限られたページ数の中に盛り込むことは到底できません。資料編・本編とは別に資料集や調査報告書等の形での研究成果の公表も予定しているとのことですが、それらについては写真や図版を多用するなど編集にも工夫をして、市民が手に取りやすく理解しやすい成果物として刊行されることを望みます。

なお、資料編・本編が完成した後、資料編・本編の使いやすさを格段に向上させるための年表編や総索引を作成することを強く期待します。また、市史の全体像を把握できる親しみやすいダイジェスト版の作成なども、より多くの市民、特に若い世代の関心を引き起こすうえでは有効であると考えます。

これらは、時間的な制約から刊行計画の中に含めて事業期間内に刊行することは現実的ではないと考えますが、継続的な形で実現されることを望みます。

### 3. 今後の資料調査・研究等の進め方について

今後、市史編さん事業を進めていくなかで、既に蓄積されているものを含め、膨大な量の資料が収集・調査・研究されることとなります。また今回、市史編さんのために、旧役場文書や郷土資料館の所蔵資料、同館に寄託された歴史資料や家々の所蔵文書などの目録作成、マイクロフィルム化及び紙焼き資料化が進められ、市民が手にとって見ることが可能な形態にされています。このこと自体は本事業の大きな成果であると言えます。

しかし、市史資料編・本編として、あるいは資料集や調査報告書などの形で公表できる内容や分量は、その全体から見ればごく限られたものに過ぎません。さらに、資料編・本編の刊行が呼び水となり、新たな資料の提供や発見に結びつくことも予測され、事業期間内では収集・調査・研究しきれない資料も出てくることと考えます。

これらの今後も蓄積され続ける膨大な資料は、市民共有の貴重な財産です。市史編さん

ん室は市制施行100周年記念事業の一大プロジェクトとしての市史編さんを行う期間限定の組織ですが、事業終了後もこれらを引き継ぎ、継続的に資料の収集・整理・調査・研究を行い、その成果を市民に還元し、市民自身がいつでも資料を活用できるような組織体制を整えていくことが望ましいと考えます。

特に、今を生きる市民だけではなく、未来の市民への貢献という観点からも、原資料の保存と適切な管理が公共的に行われることの価値と意義は他に代えがたいものです。今後の市史編さん事業が、そのような認識を明確に持ち、蓄積された成果や収集された資料の事業終了後の保存・管理・活用も念頭において進められることを求めます。

時あたかも今年4月、行政文書等の適正な管理、歴史公文書等の適切な保存及び利用等を図る、いわゆる公文書管理法が施行されました。平成20年度には既に、八王子市の庁内シンクタンクにおいて公文書館設立を展望した調査研究も行われています。

多摩のリーディングシティにふさわしく、市民の共有財産たる歴史資料を可能な限り原資料で閲覧できるような公文書館の整備へとつながってゆく市史編さん事業であることを、本審議会として切に望みます。

むすびにかえて

今年3月、我が国は東日本大震災という未曾有の国難ともいうべき事態に見舞われ、八王子市政を取り巻く状況もまた、今後一段と厳しさを増すものと推察します。であるからこそ、八王子市が今、市史編さんを行うことの意義と責任を再認識していただきたいと思えます。厳しい状況にあっても、編集専門部会の調査研究活動をしっかり支え、幅広い市民参加・市民協働により事業を円滑に進めるために、事務局体制の整備充実を希望するところです。

本審議会の議論の中では、地域行事や市民生活に密着した伝統的な営みが、担い手の高齢化により途絶えつつある現状を危惧する発言もありました。今回の市史編さんは、八王子の豊かな生活文化の再発見を促し、次の100年へと引き継いでいくうえで極めて重要な事業です。八王子のまちに愛着を感じ、地域に目を向けて生活する市民が、次代のまちづくりを担うのです。市史編さん室、関連所管はもとより、市を挙げて本事業に取り組まれることを願っています。

## 【資料】

### 1. 八王子市史編さんにおける市民協働関連事業の実施状況について

#### (1) 地域史研究者等からの市史編さんに対する意見聴取

日付 平成 19 年 7 月 27 日から 8 月 31 日まで

対象 八王子市文化財保護審議会委員、(旧)八王子市史執筆者、市内在住の地域史研究者等 43 名

内容 アンケート調査を実施し、30 名から回答を得た。回答の内容は「地域史研究者からの意見・提案」としてまとめ、関係所管等に配付した。

#### (2) 八王子市市史編さん審議会への市民委員の参加(公募)

第 1 期審議会

人数 2 名

任期 平成 20 年 6 月 25 日から平成 23 年 6 月 24 日まで

#### (3) 市史編さん室主催市民講座

平成 20 年度

開催日 平成 21 年 2 月 19 日から 3 月 26 日まで(全 6 回)

内容 史料からみた八王子の歴史入門

参加者 延 134 名

平成 21 年度(生涯学習センター共催・法政大学大原社会問題研究所協力)

開催日 平成 22 年 2 月 26 日から 3 月 19 日まで(全 4 回)

内容 近代の歴史を探る - 「はたらく人」からみる -

参加者 延 139 名

平成 22 年度(生涯学習センター共催)

開催日 平成 22 年 10 月 29 日から 11 月 26 日(全 4 回)

内容 八王子の江戸時代を探る

参加者 延 229 名

#### (4) 八王子学園都市大学いちよう塾への講座提供

平成 20 年度

提供講座 6 講座 受講者数 266 名

平成 21 年度

提供講座 10 講座 受講者数 478 名

平成 22 年度

提供講座 7 講座 受講者数 397 名

(5) 市内大学、諸団体等との連携

ア．専門部会への市内大学研究者等の参加

部会委員 5名(4大学)

専門調査員・調査員 13名(2大学)

イ．法政大学多摩図書館の特別利用

内 容 市史編さん室職員等に対する法政大学図書館所蔵資料の閲覧、貸出し  
のための利用カードの交付

ウ．法政大学大原社会問題研究所による市民講座開催協力

内 容 平成21年度市民講座への協力(会場提供及び講師派遣)

エ．都立南多摩高等学校生徒のボランティア活動受入れ

実施日 平成20年8月18日(月)、19日(火)

参加者 6名

内 容 旧役場文書等の整理補助

オ．古文書研究団体等による古文書筆耕(解読)等

古文書整理補助及び筆耕者 12名

カ．八王子・日野カワセミ会との連携

「浅川野鳥観察会」の開催

開催日 平成23年3月6日(日)午前8時30分から11時30分まで

参加者 応募者(市民)31名

日野・カワセミ会会員 17名

キ．八王子自然友の会との連携

市内植物相調査への協力

調査実施回数10回(平成22年度)

(6) 市史編さん研究協力員の配置

八王子を中心とした地域史研究において顕著な業績のある研究者から選任

任 期 平成23年1月20日から2年間

選任数 15名

(7) 『八王子市史研究』一般投稿原稿の募集

平成22年度(創刊号)

応 募 8編(応募者数7名)

掲 載 2編「八王子機業組の成立」

「八王子市におけるクマタカの繁殖記録」



2. 八王子市市史編さん審議会の開催経過（平成22・23年度）

開催日時・場所	議 題
平成22年度第1回 平成22年12月20日（月） 午後3時～5時05分 市役所本庁舎 801会議室	1. 諮問 2. 市史編さん事業の経過と現状について 3. その他
平成23年度第1回 平成23年4月18日（月） 午後2時～4時15分 男女共同参画センター会議室	1. 市史編集の進捗状況等について 2. 今後の市史編さん事業推進の方策について 3. その他
平成23年度第2回 平成23年5月16日（月） 午後1時30分～3時25分 男女共同参画センター会議室	1. 今後の市史編さん事業推進の方策について 2. その他
平成23年度第3回 平成23年6月6日（月） 午後2時～3時30分 市史編さん室	1. 今後の市史編さん事業推進の方策について 2. その他

3 . 八王子市市史編さん審議会委員名簿（平成 23 年 6 月 22 日現在）

職名	氏名	選出区分	所属等
会長	松尾 正人	学識経験者	中央大学 文学部教授
副会長	相原 悦夫	八王子市文化財保護審議会の委員	八王子市文化財保護 審議会会長
委員	池上 裕子	学識経験者	成蹊大学 文学部教授
委員	内田 純功	商工業関連団体を代表する者	八王子商工会議所 専務理事
委員	長澤美恵子	公募による市民	
委員	橋山 国雄	市民団体を代表する者	八王子市町会・自治会 連合会
委員	前田 成東	学識経験者	東海大学 政治経済学部教授
委員	光石知恵子	学識経験者	古文書を探る会副会長
委員	村松 英二	公募による市民	
委員	渡辺 忠胤	学識経験者	元 八王子市文化財保護 審議会会長

八王子市市史編さん審議会の会議録と会議資料は、下記のホームページ及び市史編さん室でご覧いただくことができます。

市史編さん室のホームページ

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/profile/shoshiki/sogoseisaku/010644.html>

## 今後の八王子市史編さん事業推進の方策について

平成23年6月

八王子市市史編さん審議会

事務局：八王子市総合政策部市史編さん室

住 所：〒193 - 0943

八王子市寺田町1455番地3

電 話：042 - 666 - 1511

FAX：042 - 666 - 1512

Eメール：b015200@city.hachioji.tokyo.jp